

しぶや区議会だより

No.310
第4回定例会号
新年合併号
令和7年(2025年)
1月6日発行

主な内容

本会議の経過・議案等の概要と結果 … 2面
一般質問(代表・個人)(要旨) … 3~6面
委員会の活動状況 … 7面
新春を迎えての各会派の抱負 … 8面

発行/渋谷区議会 〒150-8010 渋谷区宇田川町1番1号 ☎03(3463)1096



渋谷区議会ホームページ
<https://shibukugi.tokyo/>



区議会議場にて



議長
丸山 高司



副議長
治田 学



「安全で、安心して、充実した日々を暮らせる街・渋谷」を目指して

あけましておめでとうございます

区民の皆様には清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から区政と区議会の活動に対し、あたたかいご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、1月1日、元旦から「令和6年能登半島地震」が発生いたしました。被災地では、お正月の家族の団らんが一瞬にして奪われてしまい、その後の豪雨による河川の氾濫や土砂災害など、多くの尊い人命が失われる惨事が重なる結果となってしまいました。いつ来るかわからない災害や近年の度重なる風水害の頻発化・激甚化には、地域ぐるみで防災意識を高め、日頃から災害に備えておくことが、被害を最小限に食い止める大変重要なことだと思います。そのためにも平時から、声を掛け合う近隣同士のつながりをより一層、強化するための地域行事や地域活動の更なる活性化に「産官学民金言」すなわち、産業、行政機関、教育機関、

区民の皆様、金融機関、メディアなど、地域の多様なステークホルダーが力を出し合い、地域の可能性を最大限に引き出す「渋谷にかかわる」すべての人の安心と安全を創造していくことに取り組まなければならないと新年を迎え、改めて決意したところです。今年の干支「乙・巳 きのと・み」は、十干では「困難があっても紆余曲折しながら進むこと」、「巳」は蛇のイメージから「再生と変化」を意味します。この2つの組み合わせである「乙巳」には、「努力を重ね、物事を安定させていく」といったことを意味する縁起の良い年だと思えます。渋谷区議会は区民の皆様と「安全で、安心して、充実した日々を暮らせる街・渋谷」を創り上げるため努力を重ねていくことこそが使命と考え、これからも議員一同全力で活動してまいります。

本年が区民の皆様にとりまして、より良い年でありますことを心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

総務委員会委員長
区民環境委員会委員長
文教委員会委員長
福祉保健委員会委員長
議会運営委員会委員長

中村 豪志
桑水流 弓紀子
神 蘭 麻智子
沢 島 英 隆
一 柳 直 宏

自治権確立
特別委員会
交通・公有地
特別委員会
多様性社会
特別委員会
官民連携
特別委員会

五十嵐 千代子
橋 本 侑 樹
栗 谷 順 彦
岡 美千瑠

渋谷区建築物再生可能エネルギー利用促進区域内における説明義務の対象となる建築物の用途及び規模を定める条例、令和6年度渋谷区一般会計補正予算などを可決

令和6年第4回定例会は、11月22日から12月7日までの16日間の会期で開かれました。11月22日から3日間の本会議では初日に3人の議員が、2日目には4人の議員がそれぞれ代表として一般質問を行い、3日目には6人の議員が個人として一般質問を行いました。

11月26日の本会議では、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例など条例6件を原案のとおり可決しました。

12月6日及び7日の本会議では、渋谷区建築物再生可能エネルギー利用促進区域内における説明義務の対象となる建築物の用途及び規模を定める条例など条例27件、補正予算1件、契約2件、指定管理者の指定5件、特別区道路線の廃止1件・認定1件、基本協定の締結1件を原案のとおり可決し、審査請求の諮問について支障ない旨を答申、意見書1件を決定しました。また、専決処分の報告1件を聴取し、請願2件を不採択としました。

令和6年第4回定例会 / 議案等の概要と結果

Table with columns: 件名, 概要, 自由民主党, 立憲国民, シブヤ笑顔, 公明党, 日本共産党, 維新の会, 議会改革, 無所属, 結果(賛成/反対/棄権/退席), 果成対席権. Rows include various council resolutions and administrative matters.

※議員名右上の二次元コードを読み込むと、各議員の質問の模様を録画映像でご覧いただけます。

一般質問(代表)

区民の安全安心・区政運営について等6点について伺う



自由民主党
岡田 美保 議員



り、二次被害の防止等、一層の支援体制整備を強化し、他自治体等の事例も研究しながら条例制定に向け検討。

区政運営について

①本区のウェルビーイングの定義は。区民向け調査とデータ活用方法は。指標設定を各部署の施策策定に活用しては。②都市協定の展望は。

①定義は、あらゆる人々の様々な多様性を認め合い、人権を尊重し、誰もが等しく参加し、自分らしく安心して生きることが出来る状態。デジタル庁等推進の「地域幸福度指標」を採用し調査。今後は渋谷区の特徴や強みを世界に示す幸福度指標として活用。指標の全庁的活用手法を検討。②都市ネットワーク形成を各自自治体へ働きかける。

区民生活について

①河津さくららの里しぶや利用者等の声は。施設の拡充は。②マイナンバーカードの普及率と拡大の取組は。③カードの有効期限の周知は。④マイナ保険証の周知は。⑤カードの来庁困難な高齢者等への交付は。⑥カードの今後の利活用は。⑦今後のハチペイ事業の取組や展開は。⑧老朽化、故障中の公共トイレ整備を。⑨神南小と渋谷ホームズ建て替えの区民からの不安の声についての所見は。⑩玉川上水旧水路緑道再整備の舗装材影響調査の結果は。その公表と今後の維持管理は。

①施設拡張は賛成の声多数。区民の期待に応え拡充。②普及率70%。申請サポート窓口設置検討。③④区サイトや区ニュースで周知。⑤行政書士による福祉施設等への出

⑤庁内外関係機関の連携による

張申請サポートなど事業委託を検討。来庁せずにカード申請と受け取り。⑥オンライン申請の充実、区民認証活用の新サービスを検討。⑦区事業との連携や利用状況データ等を商店会にフィードバック検討。⑧清掃方法の検討と建て替え準備。⑨来庁者の利便性を向上させるよう計画を進める。⑩樹木への影響は全くないとの専門家の意見。近日中に区サイトや広報誌で公表、専門的な知識や技術を有する指定管理者委託を前提に準備。

交通政策について

①公道カートは警察と協力し指導を。②大型バス駐車問題の実態把握と解決策は。③ハチペイの料金や運行形態は。④デマンド交通運用は。

子育てと教育について

①バーチャル・ラーニング・プラットフォームの成果と課題は。都のデモ運用後は。②学校給食で区内大使館の国や協定締結都市の料理、各校人気メニューの紹介を。③白根記念渋谷区郷土博物館・文芸館工事中の図書サービススポットは。④子ども家庭支援センター、児童相談の今後は。

②実施に向け検討。③広尾中図書館設置まで継続。リフレッシュ水川への移設を計画。④早期に体制を整備し人材育成。目黒区の都立児童相談所開設後も継続。⑤教育長 ①成果は不登校児童・生徒の心理的サポートやけやき教室への入室。課題は学習目的での継続的利用の少な

さ。本区独自取組として検討



区内を走る公道カート

福祉と健康について

①けやきの苑・西原福祉複合施設として整備する理由や予定事業は。実施中のデイサービスは。②自分が住む地域とのつながり向上の施策は。③区民情報や福祉、運動習慣、文化活動データ等を横断的に収集しEBPM(証拠に基づく政策立案)を。

①障がいのある方の居場所確保や施設不足地区等の要望で設置。日中一時支援事業等予定。デイサービスは通いやすい施設へ利用移転。②同じ関心事を持つ住民がつながるきっかけの提供等。③データ連動の手法や利点等研究。

指定管理施設の幅が広がっている。評価の仕組みを。区長 指定管理者制度運用指針の策定に着手している。

まちづくり、防災、高齢者福祉、デジタル行政等6点伺う



立憲・国民
増田 洋紀 議員




水道道路沿道の建物と街路樹、幡ヶ谷社教館

勤者へ交通規制の事前案内を。区長 ①区の施策が諸外国で発信されるよう努める。②バスは実施済。歩行者動線は事前に規制内容案内ができない

高齢者福祉について

①敬老金の支給条件変更の評価は。必要に応じ見直しを。②高齢者見守りサービスの利用件数と駆け付け事例は。

①プロセスは適切。変更の考えはない。②みまもり電池29件、ハローライト電球9件申請、駆け付け事例無し。デジタル行政の推進について ①昨夏の不祥事の実態調査が不十分だった反省から、業務用チャットの削除投稿を確認でき、職員が安心して働ける環境の整備を。②データ活用による健康づくり政策を。③「官民データ活用推進計画」不存在が本区の課題。策定を。④「最高情報責任者」が臨時体制のまま。体制改革を。区長 ①必要ない。②取り組み。③策定について研究。④時期に応じ必要な体制を組む。

防災減災について

①全世界へ携帯トイレ配布を。②防災アプリで備蓄品購入促進を。③都市型地震の最優先課題は住宅の耐震向上。助成率引上げを。④能登半島地震の教訓から策定中の渋谷区受援応援計画の目的と効果は。⑤被災した人に寄り添う「災害ケースマネジメント」の体制構築を。⑥シブヤ・アロープロジェクトに2つの公式サイト。2つ目の制作費は。両サイトの位置づけと目的は。

①考えはない。②改修でリンクを掲載。③現時点で引き上げない。④受援内容を見直し、より円滑な災害対応。⑤災害対策本部の各班が連携し、重層的支援体制整備事業を参考に。⑥275万円。いずれ統合するかなど考える。

ハロウィン対策について

①来年度の海外からの来街者数抑制策は。②区在住在



街の安全・防災、子育て支援、教育等5点について伺う



シズヤ笑顔
神蘭 麻智子 議員



街の安全・防災について

問 ①「渋谷区公共の場所における客引き行為等の防止に関する条例」の眼目や改正に至った背景は。事業者への周知は。②避難所DXの実証研究の成果や課題は。③防災給食の提供を。④児童青少年施設の防災マニュアル等整備を。

区長 ①対策強化の要望もあり厳しい条例改正で安全確保に取り組み。チラシを手渡し。②円滑な受付に有効。事前登録方法は改善する。④発災時の安全な施設運営に取り組み。

教育長 ③事例等学校へ周知。

高齢者福祉について

問 敬老金贈呈の課題と改善は。対象外の方の見守りは。

区長 当面は現行方式で継続。抜け落ちないように努める。

まちづくりについて

問 ①玉川上水旧水路緑道再整備の地域が活用するスペースは地域ごとの対話で合意形成を図り計画に反映を。②恵比寿駅前出張所の環境改善は。

区長 ①対話を継続し、様々な意見を伺いながら事業を進

子育てネットワークサテライトへ定期的な保健師巡回



子育て支援について

問 ①幡ヶ谷・恵比寿保健相談所にネウボラ機能を。子育て支援施設をサテライトとして保健師の巡回を。②都の保活ワンストップサービス導入を。

区長 ①現在の人員体制等を踏まえ、検討課題とする。②導入に向けて調整を進める。

教育について

問 ①介助員・支援員の人材確保を。②笹塚中チャレンジクラスの成果と課題は。③エデュケーション・アシスタントの導入を。④放課後クラブは普通教室のタイムシェア推進を。指導員の労働環境、おやつ改善を。都立特別支援学校のセンター的機能の活用を。

教育長 ①単価見直しと複数委託先を検討。②不登校生徒の学習機会の確保につながった。教員支援の体制強化。③全小学校に配置を検討。④他校への展開を検討。多様な視

点で検討、おやつの質を改善。本制度の活用を働きかける。

用語解説 ※エデュケーション・アシスタントは小学校1年から3年の学級担任を補佐し副担任相当の業務を担う。

教育、子育て、防災等5点について伺う



公明党
栗谷 順彦 議員



教育について

問 ①今年度から始まった渋谷版探究「シズヤ未来科」の成果と実例、展望は。②「探究」から「区の政策」につながらないか検討を。③教育データの活用実例と課題、今後の展望は。④外国人児童生徒にICT環境を活用した日本語教育支援の充実を。⑤需要調査を実施し、必要とされる学校に地域人材を活用した「学校での朝預かり」の検討を。

教育長 ①渋谷に集積する多様な企業や地域と連携した実践事例が生まれ、子供たちに変化が生じている。PTA有志が設立した一般社団法人シズヤと連携し、学校の支援体制を強化。②子供たちの探究から、大人の想像を超える優れた区の政策が生み出されることを期待。③教員向けと

子育てについて

問 ①本町子育て支援センターの移転は、渋谷本町子ども園への子育て広場としての併設ではなく、「新・本町子育て支援センター」として場所を確保し整備を。②代官山テラスクリエティブやフレンドズ本町の中高校生から率直な意見を聴取し、区の政策につなげては。③ちよこっと通園事業では配慮の必要なお子さんも対象に。④保育士の離職について総合的な分析を行い、手を打つべきでは。⑤子育てネウボラ設置後、リスクのある家庭やお子さんを関係機関との連携で支援に結びつけた実例は。碑文谷児童相談所新設により、区独自の児童相談所設置は無くなったのか。

区長 ①必要性があるものと考えており、早急に検討。②児童館での開催を念頭に置いた「こども会議」の実施を検討。③配慮の必要な子供の受入も、安全に配慮し丁寧に対応。④やりがい担保し、第三者の相談窓口設置など、現場のニーズに応じた支援策も講じたい。⑤子育てへの不安から養育困難の状況に陥り、速やかに一時保護をしたケー

防災について

問 ①幡ヶ谷のエリアにも災害対策本部のサテライト的な拠点が必要ではないか。②防災キャラバンで、初期消火を実感できるAR等を活用した防災体験を行ってはいかがか。

区長 ①災対本部でサテライト拠点の運営は困難だが、防災情報の発信基地や、共助に向けた住民交流の場を設けることは有用。広く意見を伺い検討する。②ARを活用した消火体験訓練の中で、実際の消火器の使用を検討。

新型コロナウイルスの接種

問 高齢者以外の定期予防接種の対象となる方へも連携して、封書による個別のお知らせをしていただきたい。

区長 60〜64歳の対象者へのプッシュ型の個別通知については、区内部のデータを活用した対象者の抽出方法を研究

玉川上水旧水路緑道再整備

問 ①区長からアナウンスされる、テラゾ材は滑らない。蓄熱は少ない。目地から透水し、傍らの地面に流れ、雨水マスで処理もする。の3点について説明を。②玉川上水旧水路緑道再整備の費用について区長の所見を。③反対派と賛成派を一堂に集め住民同士のコンセンサスを図る場

緑道再整備笹塚工区の模様(テラゾ材)



の設定を問う請願について区長の考えを。

区長 ①東京都建設局が定める舗装材の基準を満たしている

高齢者の健康、犬の飼い主の遵守事項等4点について伺う



維新の会
久世 恵美 議員



高齢者の健康について

問 ①要支援・要介護認定率は全国平均19.3%、渋谷区21.6%。要支援1は全国2.8%、渋谷区4%。見解は。②骨密度検診補助金助成を。③フレイル予防事業へ一層注力。④移動機能低下の口コモチップシンドロームや筋力低下のサルコペニアの啓発を。⑤公園に運動器具設置を。⑥玉川上水旧水路緑道は健康投資も兼ねた再整備として理解

る。蓄熱性が高くないことも確認。目地から水がしみ通り、舗装の勾配を設けるので樹木への影響はない。雨水浸透ますや雨水浸透管を適切に設置。②全体を統一した機能や意匠となるようなデザインを採用。「国産」や「環境配慮」の資材を使用することは、決して安くはないが必要な投資として大変意義があるもの。③区民の皆様を賛成派、反対派と分類することも、意見交換の場を設けて両者のコンセンサスを取ることも、行政の立場では難しいと考える。

犬の飼い主の遵守事項について

問 ①係留義務の罰則を。②都の動物愛護に関する条例や



リードの適切な長さは街歩きだと70cm程度

区長 全区立校と希望する国立・私立の区内在住児童・生徒に配布、対象拡大はしない。今後も区民、来街者のニーズに沿った防犯対策を進める。

玉川上水旧水路緑道について

問 農園面積や舗装材のコスト見直しを視野に再度検討を。区長 農園に不安の声は認識。対話を継続し払拭していく。テラゾ材の価格は妥当性あり。緑道は貴重な公共空間で、地域の方々に親しまれるリニューアルは、必要な投資として意義あるものと考えている。

玉川上水旧水路緑道再整備について伺う



議会改革 須田 賢 議員



問 ①実施設計委託報告の訂正は。②B・S・T・B・Sの東京マガジンの質問と回答は。土木部長 ①ウッドチップ舗装とカラーコンクリート舗装の判定で、訂正前が155点と150点、訂正後が145点と140点。この資料を基にテラゾ選定。②質問「113億円の予算が妥当と考える理由は」。回答「行政には未来に向けて持続可能な開発や環境配慮、倫理的な消費も含

め、まちづくりを実施し、シテンプライドにつなげていく責務があると考えている。この先50年、100年を見据え、多くの人にシテンプライドを感じてもらえる緑道としていくために検討を進めている」。

玉川上水旧水路緑道改良工事について伺う



立憲・国民 堀切 稔仁 議員



玉川上水旧水路緑道改良工事

問 ①工事スケジュールが大山・幡ヶ谷緑道の「工事2」から幡ヶ谷のみが来春「工事3」に移行、理由や民意があるのか。②テラゾ舗装材の選定が透水性から非透水性に変更されたのは区の要望か再委託先の要望か。③テラゾ平板舗装の目地からの降雨浸透量は。④8月に代々木緑道のテラゾ材を測定したが、51度を超え子どもや高齢者にやけどのおそれがあり、ベンチ、舗装材の設置を中止すべき。⑤緑道西地域へのテラゾサンプリル材設置はいつ、どこか。

区長 ①予算時と異なることはあるが、縮小や遅れはない。②舗装材は総合的に判断。③要綱に基づき検討、目地のみの浸透量算出はしない。④他の舗装材や木製ベンチと比べ

子育て、福祉、健康等3点について伺う



シブヤ笑顔 橋本 侑樹 議員



子育てについて

問 ①デイサービス型の産後ケアの実施を。1年で復職した後も利用できる乳房ケアを。②講習会等条件に子ども乗せ電動アシスト自転車購入助成を。③全天候型遊び場整備を。

区長 ①来年度以降提供できるように検討。1年以上も対象とするか検討。②現時点、考えていない。③敷地の確保が課題、行政需要を見極める。

福祉について 問 ①スマート端末を障がい者の日常生活用具費用に加えては。②音声案内コード化点字ブロック設置を。ガイドサインの実装を。各分野の協議を包括しながらまちづくりを進めては。③マッチング交通の検討は。④日中一時支援の拡充を。はあとびあ原宿の利

ほぼ同等。⑤来年の頭までには西側のほうでも設置したい。

る包括的なまちづくりを推進。③来年度中の実証運行を目指す。④新たな場所での実施を検討。現在調整を進めている。

健康について

問 ①がん検診は土日や早朝・夜間も受診を。託児付き検診も。官民連携で疾病リスクを捉える機会を。②ヘアロスの方のウィッグも助成対象に。③子宮頸がんワクチンが今年度3回終わらない希望者に無料接種を。④SRRHの啓発を学校で。はたちのついでに冊子配布を。⑤女性の健康相談事業と都「わかさば」の連携を。中学校性教育に周知も。

区長 ①渋谷区医師会と協議。託児付きは研究課題。分析を委託、未受診者に勧奨を実施。②都の動向を踏まえ研究。③国の動向を注視。④今後追加を検討。⑤内容等確認し検討。教育長 ④希望校に個別支援を行う。⑤情報提供する。

用語解説 ※SRRHはセクシャル・リプロダクティブ・ヘルス・アンド・ライツ。性と生殖に関する健康と権利。

Table with 2 columns: 情報公開関係 (令和6年11月1日～11月30日) and 個人情報保護関係 (令和6年11月1日～11月30日). Rows include 請求件数, 文書件数, 公開件数, 非公開件数 (不存在).

性犯罪・性暴力の撲滅に向けた取組の強化を求める意見書

性犯罪・性暴力は、被害者の尊厳を深く傷つけ、心身に重大な苦痛を与える重大な人権侵害である。これらの被害は、羞恥心や自責感などから表面化しにくく、相談しても周囲の無理解や偏見によって二次的被害を受ける場合がある。また、加害者が顔見知りであることが多く、特に子どもは被害を認識できず、加害者との関係性などから被害が潜在化・深刻化しやすいと指摘されている。平成29年7月には刑法改正により、強制性交等の対象行為の見直しや法定刑の引き上げが行われた。昨年6月には刑法および刑事訴訟法の改正により、不同意性交等罪や不同意わいせつ罪の成立要件の見直し、性交同意年齢の引き上げ、公訴時効の見直しが行われた。また、関係省庁では「性犯罪・性暴力対策の更なる強化の方針」に基づき、令和7年度までを集中強化期間として取り組みを進めている。しかし、性犯罪・性暴力が被害者の心身に長期間にわたり重大な苦痛を与える深刻な問題であることを踏まえると、対策のさらなる強化が急務である。

- よって国において、性犯罪・性暴力の撲滅に向け、以下の措置を速やかに講じることを強く求める。 1. 性被害の申告の困難さや捜査開始までに時間がかかる場合があることを踏まえ、18歳未満の性犯罪に係る公訴時効期間の更なる延長を検討するとともに、警察や児童相談所等の機関で関係書類を適切に保全する体制を確立すること 2. 性犯罪の悪質性や重大性に鑑み、抑止力の強化を図るため性犯罪の更なる厳罰化を検討すること 3. 子どもが性犯罪や性暴力の被害者・加害者とならないよう、包括的な教育を推進すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。 令和6年12月6日 渋谷区議会議長名 衆議院議長／参議院議長／内閣総理大臣／総務大臣／法務大臣 文部科学大臣／厚生労働大臣／内閣官房長官／国家公安委員会委員長 内閣府特命担当大臣(子ども政策)／内閣府特命担当大臣(男女共同参画) 内閣府特命担当大臣(経済財政政策) いて

会派等一覧

- 令和6年12月1日現在 (◎幹事長/○副幹事長) 渋谷区議会自由民主党議員団(7人) TEL03-3463-1034 ◎一柳直宏 岡美千瑠 ○中村豪志 斎藤竜一 松本翔 丸山高司 岡田美保 立憲・国民渋谷議員団(6人) TEL03-3463-1042 ◎小田浩美 桑水流弓紀子 ○増田洋紀 堀切稔仁 佐々木由樹 治田学 シブヤを笑顔にする会(6人) TEL03-3463-1046 ◎伊藤毅志 神菌麻智子 ○岡田麻理 橋本侑樹 葉丸義人 田中匠身 渋谷区議会公明党(5人) TEL03-3463-1036 ◎久永薫 吉崎いづみ ○栗谷順彦 沢島英隆 近藤順子 日本共産党渋谷区議会議員団(3人) TEL03-3463-1038 ◎田中正也 ○牛尾真己 ○五十嵐千代子 日本維新の会渋谷区議団(3人) TEL03-3463-1076 ◎星野愛 久世恵美 ○太田真也 議会改革の会(3人) TEL03-3463-1060 ◎須田賢 ○矢野桂太 ○鈴木建邦 無所属 矢ヶ崎清花 TEL 03-3463-1068

お知らせ ●議員の住所変更 太田真也 議員 (令和6年11月11日) [新住所] 本町5-38-10 ライオンズマンション渋谷本町302

議員の年賀状等は廃止しています 渋谷区議会では、「虚礼等廃止に関する決議」を行い、区議会議員の年賀状・寒中見舞いなどの挨拶状は廃止しております。この紙面を借りて、ご挨拶にかえさせていただきます。 区民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



*質問・答弁は要旨を掲載しています。 実際の発言内容は、2月下旬発行予定の会議録でご覧いただけます。なお、会議録は区政資料コーナー及び区立図書館でご覧になれます。

委員会の活動状況

令和6年10月18日〜令和6年12月7日

常任委員会

総務委員会

▼令和6年給与勧告等の状況について、公民較差解消のため、初任給や若年層に重点を置きつつ、全ての級及び号給で引上げ等の勧告を行ったとの報告を受けました。

▼石巻市、宇都宮市、甲府市及び茅野市に続き、福島県郡山市と締結した災害時相互応援協定について報告を受けました。締結先が増えることに伴い、平時からのつながりや防災訓練への参加等、業務量も増えるため、体制の強化を検討するよう要望しました。

▼また、スペース等の関係から備蓄の面でも協定をいかにせるのではないかな等の意見がありました。

▼渋谷区民防災マニュアルの改定について、報告を受けました。改定内容について、区民への丁寧な周知をするよう要望しました。

区民環境委員会

▼築地虎ノ門トンネルを視察しました。本トンネルは、適正かつ合理的な土地利用を促進する立体道路制度を適用して、道路の上下空間に建物を建築しています。当委員会は今後も、魅力的かつにぎわいがある渋谷のまちづくりに取り組んでいきます。

▼健康保険被保険者証の発行終了に伴う対応について報告



△築地虎ノ門トンネルを視察

文教委員会

▼令和5年度評価対象の「渋谷区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書」の報告を受けました。探究学習やAIを活用した学習等について質疑が行われました。

▼令和5年度評価対象の「渋谷区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書」の報告を受けました。探究学習やAIを活用した学習等について質疑が行われました。

福祉保健委員会

▼青山キャンパスの整備について、施設の概要、今後のスケジュール及び図面等の説明を受けました。自転車通学の採用やスクールバスを希望する生徒についても臨機応変に対応するよう要望しました。

▼令和7年度区立中学校希望校調査書の集計結果と区立幼稚園・幼保一元化施設入園申込状況について報告を受けました。中学校や園の良さがわかるPR方法を検討するよう求めました。

▼令和7年はたちのつどいは、1月13日の成人の日開催するとの報告を受けました。

▼令和6年12月1日開設の障がい者福祉施設「りばあさいど原宿」を視察しました。施設の概要について説明を受け、短期入所施設や機能訓練室、プール等を確認しました。



△渋谷区りばあさいど原宿を視察

議会運営委員会

▼令和6年度第2回渋谷区介護保険運営協議会、第2回渋谷区地域包括支援センター運営協議会、第2回渋谷区地域密着型サービス運営委員会の報告を受けました。フレイル予防について、様々な取組の結果をデータ化して効果を可視化できるようにし、更に事業を推進するよう要望しました。

▼令和6年度敬老金贈呈事業の進捗について報告を受けました。事業内容の変更により多数の問い合わせがあったため、円滑に進められるよう、適切な周知の時期と方法の検討を求めました。

▼11月22日、第4回渋谷区議会定例会が招集されました。当委員会では、事前に区長の出席を求め、提出予定議案として、渋谷区行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例など条例の番号を改正する条例など条例27件、地域経済活性化事業等に係る一般会計補正予算1件、契約2件、渋谷区本町区民施設などの指定管理者の指定5件、特別区道路線の廃止

特別委員会

自治権確立特別委員会

▼児童養護施設の広尾フレンズと若草寮の職員を迎え、児童養護施設及び子どもシヨーステイの現状と課題について懇談会を行いました。養護を必要とする子どもたちと施設の実態等について意見を交換しました。

▼渋谷区で回収されたプラスチックをリサイクルしている株式会社レゾナックのケミカルリサイクル施設を視察しま

した。ケミカルリサイクルとは、使用済みプラスチックを分子に戻して、ほぼ全量を製品として蘇らせる技術です。プラスチック製の菓子袋やコンビニエンスストアの弁当容器なども、区内では資源として回収されていますが、更に資源を増やすため、分別が大切なことを改めて感じた視察でした。

交通・公有地問題特別委員会

▼渋谷、原宿、代々木の三警

察署並びに各交通安全協会の関係者を招いて、区内の交通問題に係る懇談会を開催しました。はじめに警察側から、秋の交通安全運動期間中の交通事故発生状況について報告があり、区内で発生した人身事故件数は昨年よりも減少しているとの説明を受けました。続いて各委員から、電動ファットバイクや自転車等の安全対策、路上駐停車対策の強化、横断歩道の停止線の位置等に関する要望などを伝え、対応を求めました。

▼サイクリングエンバシーオブジャパンと都市での自転車の活用について懇談会を実施しました。カーゴバイクの活用など海外事例や都内の自転車利用実態に関する説明の後、区内の自転車走行・駐輪環境について意見交換をしました。



△サイクリングエンバシーオブジャパンとの懇談会

官民連携事業調査特別委員会

▼展示を行い、シブヤフォントデザインのトートバッグを配布しました。多くの人がテントを訪れ、多様性を認め合う社会の推進について啓発を図ることができました。

▼渋谷ジェンダー平等推進アワード及び渋谷ジェンダー映画祭について報告を受けました。質疑の中で、本アワードの受賞者の活動を知ってもらうため、情報発信や広がりがある連携も必要との意見がありました。

▼東京ウイメンズプラザを視察しました。男女平等参画社会の実現及び女性活躍推進に向けた若年女性への情報発信や支援の強化、DV対策の現状等について説明を受けました。

▼11月18日、LINEヤフー株式会社と当区や他自治体との連携事業について懇談会を開催しました。各種行政手続のほか、助成金・給付金の申請、ハチペイの区民認証等でのシステムの活用について説明を受けました。また災害時における情報発信など様々な行政サービスのプラットフォームとしての役割やセキュリティ対策強化等、今後の課題について意見交換を行いました。

▼12月2日、ササハタハツまちラボ事業について、京王電鉄株式会社や東急不動産株式会社、「つながる菜園」と懇談会を開催しました。事業立ち上げから現在に至るまでの経緯や民間企業・各種団体・区民が参画する意義について説明があり、委員からは更にプロジェクトでの連携を応援したい等の意見がありました。

多様性社会推進特別委員会

▼「第47回渋谷区くみんの広場」に参加しました。委員会活動の写真や視察先の紹介の

構成人数が
3人以上の会派

新春を迎えての各会派の抱負

渋谷区議会自由民主党議員団

「安心して住み続けられるまち・渋谷」実現のため
本年も区政の諸課題に全力で取り組みます

あけましておめでとうございます。日頃より区民の皆様から温かいご支援・ご指導を賜り、心より御礼申し上げます。
昨年より長引く物価高騰が日々の暮らしに大きな影響を与えた1年となりました。物価高騰対策として、国が行う定額減税や住民税非課税世帯等への各種支援に対応するほか、本区では区立小中学校の給食費無償化を行い、デジタル地域通貨「ハチペイ」による経済支援等も進めています。
治安・防犯では、青色防犯灯付きパトロール車や徒歩による巡回のほか、夜間の路上飲酒を通年で禁止し、客引き行為等を厳罰化する等、犯罪や迷惑行為を防止する対策を強化しています。教育では、未来の学校プロジェクトとしてソフト面では探究「シブヤ未来科」により総合的な学習を進め、ハード面では仮設校舎「青山キャンパス」の4月開設に向けた整備を着実に進めました。高齢者福祉では相談や見守り施策を充実させ、障がい者福祉では神宮前3丁目に「りばあさいど原宿」を昨年12月に開設し、支援を強化しています。
自由民主党議員団は、「安心して住み続けられるまち・渋谷」の実現に向け、本年も全力で取り組んで参ります。

立憲・国民渋谷議員団

だれ一人取り残されない人に優しい渋谷を目指し
皆さまの声が反映されるまちづくりに邁進します

あけましておめでとうございます。日頃より、立憲・国民渋谷議員団の活動に、あたたかいご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。
令和6年度は能登半島地震発災の大きな衝撃から始まり、その後も豪雨や台風など各地で甚大な災害が発生しました。被害にあわれた皆様方に心よりお見舞いを申し上げます。区内でも豪雨による被害が確認され、また、全国的に多発している悪質な強盗犯罪など、万が一の災害や事件に備える対策は火急の問題です。本年も区民の命と暮らしを守る施策をしっかり進めて参ります。
昨年より多くの皆さまから区政運営に対するご意見が寄せられました。我が会派は、その声や思いが届く議会活動に努め、各事業が多角的な観点で議論、審議がなされるよう取り組み、加えて、新たな施策の提言を行うと共に、性犯罪・性暴力の撲滅に向けた国への意見書の提案など、課題解決に取り組みました。
本年は、60年に一度巡ってくる「乙巳(きのと・み)」の年で、新しいものが生まれ、成長していく年とされています。立憲・国民渋谷議員団は、区民が中心の区政へと変化がもたらされ、区民の思いが大きく実る年となるよう、本年も全力を傾けて邁進して参ります。

シブヤを笑顔にする会

多様性を認め合うまちづくりをさらに前進！
一人ひとりの笑顔のために本年も全力を尽くします

あけましておめでとうございます。シブヤを笑顔にする会は政党無所属の議員6名で活動しております。昨年、区民の皆さまにおかれましては当会派へのご指導ご鞭撻をいただきありがとうございました。
昨年は、学校給食の質向上と全額補助、不登校児童・生徒の支援の充実、24時間365日の障がい者緊急電話相談の実施、医療的ケア・重症心身障がい児者の施設となる「渋谷区りばあさいど原宿」の開設、AIやIoT等の最新技術を活用した高齢者見守り、防災行政無線の全機更新、夜間迷惑路上飲酒の通年の禁止、客引き等迷惑行為の厳罰化など多くの提案が実現しました。
本年は、8月に仮設校舎青山キャンパスがオープン。未来の学びが実現します。また、移動支援としてデマンド交通の実証実験へ着手、笹塚の九号通り公園はインクルーシブ公園に再整備され、多様な区民ニーズに対応します。防災アプリもリニューアルされ、防災マニュアル改訂版も配布されます。
2025年はデフリンピック東京大会の開催年でもあります。シブヤを笑顔にする会は、一人ひとりの多様な区民が自分らしく生きることができるとともに、更に邁進してまいります。本年もよろしくお祈りいたします。

渋谷区議会公明党

未来を見据え、区政の課題に全力で取り組み
区民福祉・区民サービスの向上へ邁進します

新年明けましておめでとうございます。
日頃より皆様のあたたかいご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。
昨年より長引く物価高騰に対する切れ目のない対策を講じ、現場の声を区政につなぎ、デジタル地域通貨「ハチペイ」のポイントバックを継続し、区民と中小企業者や区内店舗等の支援が前進。また本年2月にも「プレミアムデジタル商品券の販売」を行い、更なる経済負担軽減策に取り組みると同時にデジタルデバインド解消事業も引き続き進めます。そして能登半島地震を教訓に防災対策を拡充。引き続き、区民のいのちと生活を守り支える政策を進めて参ります。
これまで我が会派が重点課題として取り組んできた「重層的支援体制」が子育て、教育、福祉分野で連携を強化し、訪問型相談支援も開始され、地域に根差した相談体制が拡充されました。教育においては全国初の取組である探究学習「シブヤ未来科」が全区立小中学校でスタート。これからの時代に必要な力を育む教育環境を整えられるよう、全力で後押しして参ります。
これからも公明党は「ひとりの声を大切に」更なる区民サービスの充実に努め、皆様の声を区政に反映して参ります。

日本共産党渋谷区議会議員団

くらしと平和に希望を 物価高騰から生活と営業を守り
福祉・教育優先で住民が主人公の区政実現を

新年あけましておめでとうございます。
日本共産党区議団は、パレスチナ、ウクライナの平和と核兵器廃絶、賃金の大幅引き上げや消費税減税、社会保障の充実を求めるとともに、物価高騰からくらし、営業を守り、区民の声が生きる区政へ、今年も全力をつくします。
長谷部区政は、困っている区民や中小業者者に直接届く支援には背を向け、国保料の大幅引き上げと敬老金の6割削減。7月には区の施設使用料を大幅値上げしようとしています。一方で、渋谷駅周辺再開発には52億円、玉川上水旧水路緑道整備には123億円もの税金投入と、神南小学校の容積率と区道を破格で提供する公園通り西地区再開発事業などを、住民無視で強行しています。
党区議団は、物価高騰に苦しむ区民と中小業者への助成や零細業者賃上げ助成の実施、公共施設使用料や国保料の値上げの中止、大学生等への給付制奨学金実施、私立等の小中学校給食無償化、少人数学級、保育の質の向上、敬老祝い金復活や特養老人ホーム待機者ゼロ、若者と子育て世帯への家賃補助の復活など、税金の使い方を、くらし、福祉、教育、子育て支援優先に切り替え、1,522億円の基金を活用するなど、住民が主人公の区政実現に全力をあげます。

日本維新の会渋谷区議団

「一人ひとりが主人公」皆様の思いとともに
更に安心安全に暮らし続けることができる渋谷へ


あけましておめでとうございます。
能登半島地震という大きな災害で始まった昨年、今なお避難生活を送っている方々にお見舞い申し上げます。また、会派を結成して2年目となる昨年も区民の皆様からご支援とご鞭撻を賜り、感謝申し上げます。
会派として取り組んでまいりました恵比寿駅周辺でのスカウト問題では関係機関からのご協力を賜り、また公共の場所における客引き行為等の防止に関する条例の改正により、より安全な環境となることを期待されます。
昨年12月にオープンの障がい者福祉施設りばあさいど原宿、今年オープンする予定の本町区民施設等、地域福祉、地域交流の場がより充実されます。障がい児相談窓口は実質的に増えることとなりましたが、一層の福祉支援拡充を目指します。新しい学校づくりでは、いよいよ青山キャンパスでの授業が始まります。利用する学校間での交流が深まり、学びに大きな影響や発見があることを願っております。教育環境の改善や推進に今年も取り組んでまいります。
日本維新の会渋谷区議団は、引き続き区民の皆様の声に寄り添い、全力を尽くしてまいります。

次回定例会のお知らせ

●令和7年第1回定例会は、2月19日から開かれる予定です。
主に、令和7年度各会計予算が審議されます。
本会議は、初日と2日目、3日目に一般質問、最終日に議案の議決等が行われます。

あけましておめでとうございます
今回は、第4回定例会の内容を中心に掲載しました。
今後も親しみやすい紙面づくりに
努めてまいります。
本年もよろしくお祈りいたします。

■区議会事務局調査係
TEL 03-3463-1096 FAX 03-5458-4939
メールアドレス sec-kugikai-3@shibuya.tokyo



議会改革の会

無会派3名で議会改革を目指し新会派結成。本年は意見の違いを力に変えて区民のために努力します！

10月に無会派3名で議会改革を目指し結成した新会派です。政策的には異なる点もありますが、それぞれの意見を尊重しています。異なる意見に真剣に向き合って考えが深まることも多く、違いを力にしつつ区民のために努力します！
(鈴木) 新年おめでとうございます。会派結成についてはご期待の声もご不安の声も含め多くの反響をいただきました。真価が問われる年と身を引き締めています。メイン分野の健康と教育、防災を充実させつつインフレ時代に最適な財政を模索します。ネットでの発信も強化しますのでご期待ください。
(矢野) 新年おめでとうございます。渋谷区の街づくりでは、多様性だけでなく、地域性を大切に、適切な都市開発や防災対策、道路・公園整備を進めてまいります。区民が暮らしやすい渋谷を目指して、区民の声に寄り添いながら全力で取り組んでまいります。どうぞご期待ください。
(須田) 明けましておめでとうございます。本年も引き続き区民の皆様のための区政に取り組んでまいります。渋谷区においては様々な先進的な取組がある一方、約120億円前後の金額を投じて玉川上水旧水路緑道の再整備計画を進める等大きな課題もあります。一つ一つの課題に丁寧に取り組んでまいります。